

平成28年度第2回山陽小野田市住居表示審議会議事録（要約版）

○開催日時	平成28年8月2日（火）午後1時30分～2時45分
○開催場所	山陽小野田市役所 第二委員会室
○出席者	1号委員 三山委員、山口委員、松井委員、岡村委員 2号委員 嶋田委員、田邊委員、大本委員、平中委員、森本委員
○欠席者	2号委員 山本委員
○事務局	多田建設部長 都市計画課 森課長、高橋主査、笹木主任
○傍聴人	なし
○会議次第	1 開会 2 辞令交付 3 部長挨拶 4 職員紹介 5 議事 会長・副会長の選出 須恵東周辺地区の住居表示について 経過報告 新町界、新町名について 今後の予定について 6 その他 7 閉会
<p>須恵東地区の住居表示整備事業について経過報告、新町界・新町名について及び今後の予定について事務局から説明。</p> <p>質疑応答</p> <p>（委員） 別図2をみると、いびつな形で入り組んでいる箇所があるが、これは宇部市との境界ですか。</p> <p>（事務局） 宇部市との境界である。宇部市と協議をしたが行政面積が変わることになり、住居表示を理由に市境の変更は不可能です。</p> <p>（委員） 入り組んできている宇部市の部分の地目は農地か、宅地か。</p> <p>（事務局） 現地の状況をみれば、農地も宅地もあると思われます。</p> <p>（委員） 青字とか赤字ではないのか。</p> <p>（事務局） 青字や赤字ではありません。地図では幅の狭い感じを受けるが現地では広さがあります。宇部市の土地であるため、現段階では住居表示の設定は不可能であります。本市の土地になる可能性をふまえ、住居番号が取れるように設定をしておきます。</p>	

(委員) 大学通一丁目が一部あるのか。

(事務局) 地籍調査が入るまでは市境が明確ではなかった。該当箇所が既に大学通一丁目になっていると認識していたが、地籍調査の後に市境が明確になり、該当地が大学通一丁目の設定がされていないことが判明したため、この部分について大学通一丁目を設定します。

(委員) 大学通二丁目の住居番号の設定方法は。

(事務局) 現地状況を考慮すると約19街区となる予定であり、道路や地形地物等で区画を区切り原則時計回りに連番を設定する。本年度業務において現地調査を行い決定します。

(委員) 大学通一丁目及び二丁目は都市計画区域内か。また、用途地域は。

(事務局) 本市は全域が都市計画区域である。今回住居表示を実施する箇所は全て第一種住居地域です。

(委員) 飲食関係の出店について制限があるか。

(事務局) 第一種住居地域であり、大規模小売店は別として、容積率200%、建ぺい率60%以外には特に制限はありません。

(委員) 9月議会で新町名が決まるのか。

(事務局) そのとおりです。

(委員) 大学通一丁目の住居表示実施はいつか。

(事務局) 昭和61年9月です。

(委員) 住居表示の説明会等で雀田駅を大学駅のように駅名の変更の要望等は無かったか。

(事務局) 新町名のアンケートの中に雀田が良いという意見はありましたが、駅名変更についての要望はありませんでした。

その他

(委員) 住居表示を実施していただくと業務の効率化が図れるので、大歓迎です。

(委員) 登記簿データの書換え作業があるので、早めにデータの提供をお願いします。

(委員) 住所関係の端末システムが本部での入力作業となるので、1日でも早い資料提供をお願いします。

(事務局) 住居表示の実施は来年の2月下旬に実施予定ですので、なるべく早めに情報提供できるように調整します。